

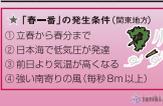
## 平成最後の「春一番」はいつ？

まだまだ寒さの厳しい季節とはいえ、時にはボカボカと春のような日差しを温もる感じられる日も。本格的な春が待ち遠しくなる時期ですが、春の到来を告げるものとして「春一番」があります。「春一番」と聞くと明るいイメージですが、暴風になるため、警戒しなければなりません。晩秋に、東京と近畿地方で発表される「木枯らし一号」に対して、「春一番」は関東地方、東海地方など地方ごとに発表されます。(北海道と東北、沖縄を除く。)しかも毎年必ずあるものではなく、条件に合致しないと「春一番」が発表されない年も。「春一番」の発生する条件は地域に

より多少異なりますが、

- ①立春から春分まで
  - ②日本海で低気圧が発達
  - ③日本付近で気圧が急降
  - ④強い南よりの風が吹く(おおむね8m/s以上)です。
- 関東地方では1951年の観測開始以来、「春一番」が発生しない年が10回、平成に入ってから5回は発生した。平成最後の「春一番」はいつ発生するのか、それとも発生しないのか、注目です。

### 平成最後の「春一番」はいつ？



https://tenki.jp/

日本気象協会 小野 聡 子

特別顧問	丹羽 晟 (元理事長、日本空港ビルデング顧問)	丸山 博 (元国土交通審議官)	本保 芳明 (初代観光庁長官)
理事長	大島 慎子 (筑波大学学長)		
副理事長	岡村 進 (元小田急トラベル社長)		
事務局長	杉 行夫 (理事) 事務局次長 堀 り (理事)		
支部長	魚住 隆彰 (北陸・元北陸鉄道相談役)	長尾 亜夫 (九州・西日本鉄道相談役)	梅原 利之 (四国・四国旅客鉄道顧問)
理事 事	近藤 寛 (東海旅客鉄道相談役) 寺前秀一 (元加賀市長) 分家静男 (元射水市長) 岡部義典 (経済ジャーナリスト)	山田甲斐 (元近畿日本フェリス) 利川國夫 (小田急鉄道特別友友) 近藤節夫 (日本ベンチャー研究所) 長尾由美 (元北陸鉄道相談役)	北村 嵩 (元TJB相談役) 澤田利彦 (松陵大学学長) 梅原利之 (四国旅客鉄道顧問) 今日智康 (ケーアーク・ロードS&P代表取締役)
	河西玄和 (日本観光学会最高顧問) 角 廣志 (特定非営利活動法人るさとテレビ副理事長) 望月義人 (筑波大学教授)	大西啓彦 (アフィリエイトS&P代表取締役) 高橋俊明 (元・小田急レストランシステム取締役社長)	辛島保馬 (元TJB国会担当、佐藤和弘公認会計事務所相談役)

団体会員	アイエスカパニー 一般財団法人NHKインターナショナル 株式会社えんいしゃ 小田急電鉄株式会社 関西電力株式会社 九州旅客鉄道株式会社 社団法人くらしのサポーターセンター 株式会社アソシエイトキヤブ 株式会社耕人舎 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド 三善旅行社有限公司 四国旅客鉄道株式会社 新愛冷熱工業株式会社 住友電設株式会社 セントラルリーディングシステム株式会社 大成建設株式会社 大成設備株式会社 大成有業不動産株式会社 株式会社丹育社 第一交通産業株式会社 株式会社ダイエーコンサルタント 中国電力株式会社 一般財団法人中央日本総合観光機構 東海旅客鉄道株式会社 東急建設株式会社 東京急行電鉄株式会社 財団法人東京観光財団 西日本鉄道株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 公益社団法人日本観光振興協会中部支会 日本空港ビルデング株式会社 専門学校日本ホテルスクール 羽田旅客サービス株式会社 株式会社バロックジャパンリミテッド 広島電機株式会社 福岡空港ビルディング株式会社 北海道空港株式会社 株式会社ホテル小田急 ホテルロマンティックホテルデングス株式会社 モバイルクリエイティブ株式会社 株式会社まよみフォーレ 三菱電機株式会社
------	--

**編集後記：** 昨年末、久しぶりにハワイを訪れた。娘二人と孫二人一緒に、いわゆる3世代旅行である。ハワイ島のワイコロアで5泊、ノボルのワイキキで5泊した。クリスマス直前の時期であったが、こちらのホテルもほぼ満室で、町も賑わっていた。韓国や中国からの観光客が立ち回り日本人観光客が以前に比べて少ないように感じた▼調べてみるとハワイを訪れる日本人観光客はここ数年、年間150万人前後で推移しているという。私がハワイに滞在していた2000年頃は、ハワイへの観光客が年間600万人の内日本人観光客は200万人と言われていた。日本からの観光客の減少分をアジアからの客が埋めているよう▼最近ではインウンドンに対する関心が高く、アウトバンドは影が薄い。インウンドンは昨年3000万人を超えたが、アウトバンドは20年ぶりに1700万人前後で伸び悩んでいたが、昨年や2019年4千人となり過去最高を6年ぶりに更新した▼人口に対して国外に出る人の割合「出国率」は、日本は13.5%である。台湾61.9%は韓国44.0%でカナダやロシアより低い。シンガポール、マレーシア、英国などは100%を超えている。何人も国外へ出る人が多いのだ。▼「若者の旅行慣れ」という話もよく聞かれる。20代の出国者数は1996年から20年間て4割左右減っているが、若者人口自体が減っているの「出国率は24.6%から23.4%へと、あまり変わっていない。全く興味を示さない無関心層も多少に広面。年々何人も海外旅行をする若者もいるというところどころ▼海外旅行市場を牽引している、旅が大好きで小金を持っている団塊の世代が少しずつフェイドアウトしてあり、熟年層の出国者数も頭打ち化が進んだ。働き方改革の実施で現役世代の海外家族旅行の増加に期待したい▼驚りかえって見るとこの編集後記の話題もほとんどインバンド関係であった。インバンド、国内旅行、アウトバンド、地域振興など観光全般にも目を向けられるよう努力したい。(北村)



東京都新宿区西新宿2-2-1  
小田急第一生命ビル555  
〒160-0023

電話 03(5989)1092  
FAX 03(5989)1093  
E-mail info@japannow.org  
HP www.japannow.org/  
発行人：大島 慎子  
編集長：北村 嵩  
発行部数：3,000部  
主な配布先：会員、中央官庁、地方自治体、民間企業マスコミなど

# NPO法人 JAPAN NOW 観光情報協会

人と都市・観光の地球時代を市民が変える

123

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する毎月情報紙 第123号 発行日 2019年1月30日



写真出典：航空自衛隊ホームページ <http://www.mod.go.jp/asf/sag/gallery.html> トミダミツコ加工して作成

※冬の新千歳空港と上空を飛行する日本政府専用機。2019年の今年から、日本政府専用機はボーイング747-400型に替わりボーイング777-300ER型機が運用される。

## 大島理事長 年頭所感

昨年1年間の訪日外客数は前年比8.7%増の3,119万2千人!

平成最後の年となり、バブル期の喧騒から忍耐の時代を経て、平成15年(2003)の観光立国宣言が、約15年の官民の努力により、身を結ぶ形になりました。観光が物見遊山と言われていた時代から、確実に国家の課題となり、個々の都道府県レベルで観光業の拡大や旅行者受け入れに努力することが当然のことと考えられる時代になりました。また、本年はラグビーワールドカップ2019、来年はオリンピックパラリンピック東京大会、日本を中心としたスポーツツーリズムで、日本の魅力を発信し、交流人口や地域経済への効果を得る機会があります。一方、観光業は労働集約型のサービス産業なので、全産業の2020年の伸び率は、東アジア市場を中心に、昨年多発した自然災害による旅行控えが響いたと考えられるが、年末までには東アジア市場すべてで前年同様に上回るまで回復してきます。欧米豪市場については、好調なクルーズ船需要やグローバルキャンピングの実施により、年間を通じて好調な伸びを示しています。

2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs) (Sustainable Development Goals) が世界的に注目されてきましたが、観光は地域社会に、それぞれが生み育った場所でも成功する機会を与えることで、雇用創出や地域文化や環境保全に役立ちます。

観光産業は世界のGDP10%、雇用の7%を担う一大産業です。2030年の国際観光客到着数は18億人まで拡大すると予測されています。

新たな時代に、観光が新しい発展の指針となるように、本会も視野を広くして活動していきたいと思つた。

大島 慎子

## 旅行消費総額は過去最高の8.7%増も伸び悩み

JNTOの発表によると、2018年の訪日外客数は前年比8.7%増の3,119万2千人で、JNTOが統計を取り始めた1964年以降、最多となった。しかし、伸び率は昨年2017年の19.3%増に対して8.7%と1桁に縮小した。一方、外国人による旅行消費も過去最高の4兆5千億円となったが、一人当たりの消費額は15万3千円となり、伸び悩んだ。田端観光庁長官によると、消費額が少ないクルーズ船の客が多いことが伸び悩みの背景にある。今後は、比較的平均滞在日数が長く、消費額の高い欧米客などの呼び込み力を入れて、政府目標の2020年訪日客数4千万人、消費額8兆円に近づける考えだ。外客客の伸び率は、東アジア市場を中心に、昨年多発した自然災害による旅行控えが響いたと考えられるが、年末までには東アジア市場すべてで前年同様に上回るまで回復してきます。欧米豪市場については、好調なクルーズ船需要やグローバルキャンピングの実施により、年間を通じて好調な伸びを示しています。

市場別では、中国が838万人となり全市場で初めて800万人台に達したほか、タイが前年比14.7%増の113万人になり、東南アジア市場で初めて100万人を突破するなど着実な伸びを示し、結果として香港を除く19市場で過去最高を記録した。東アジア4市場合計では、前年比7.5%増の2,288万3千人となり、相変わらず訪日外客の4分の3近くを占めている。

2019年は秋に行われるラグビーのワールドカップ大会や、6月16日大阪で予定されているG20サミットのなど外客の集客に貢献が期待される大型イベントもあるが、昨年のような自然災害が起ることはないと思つた。

JNPOホームページ へHPトップページ右上の会員ページボタンからログイン画面に進み、ユーザー名・パスワードを入れてログインして下さい。

ユーザー名  パスワード





元 JTB 取締役 北村 嵩



天然痘の被害を伝えるアステカの絵

植物や動物以上に、  
新大陸に多大な影響を  
与えたのは、この大陸  
に存在しなかつた病原  
菌である。ヨーロッパ  
人が持ち込んだ、天然  
痘、はしか、インフル  
エンザなど病の病原菌  
は、これらに対する免  
疫や抵抗力を持ち合わせない先住民の間に急速  
に広がり、伝染病として多くの命を奪った。

これらの病原菌は、もともと動物がかかる感染症が変化  
して人間がかかるようになったものである。早くから動物  
を飼育したユーラシア大陸では、たびたび、これらの感  
染症に襲われた。しかし時間の経過と共に、人々は徐々に  
免疫や遺伝性の抵抗力を自然に身に付けていった。

アステカ帝国やインカ帝国滅亡の速因も、スペイン人が  
持ち込んだ天然痘であった。この天然痘の大流行で人口が  
激減して、壊滅的な打撃を被っており、少数ながら強力な  
スペイン軍の攻撃に耐えられなかつたのである。北アメリ  
カ大陸の中央で栄えた、最も進歩した先住民文明の一つで  
あった「ミシジッピ文明圏」も病原菌の犠牲になり、17 世  
紀後半には姿を消した。メキシコ経由で病原菌が到着した  
のは、ヨーロッパからの入植者が到達するよりも早かつた  
のである。

アメリカ独立戦争前には、イギリス軍とフランス・イン  
ディアン連合軍が戦つた「フレンチ・インディアン戦争」  
(1754～63) では、イギリス軍が、天然痘やペスト菌を付  
着させた毛布をインディアンにばら撒き、その勢力を弱ら  
せたといわれている。又、ハワイでも、18 世紀末、ジェ  
ームス・クック船長が到着した当時は、約 30 万人以上の  
ネイティブ・ハワイ人がいたが、19 世紀半ばには 7 万人  
ほどに減つてしまつた。それまで存在しなかつた病原菌を  
ヨーロッパ人が持ち込み、それらに感染されたせいである。

このようにヨーロッパから新大陸には数多くの病原菌が持  
ち込まれたが、逆にアメリカ大陸からヨーロッパに持ち込ま  
れた病気もある。梅毒である。梅毒の起源については、ヨ  
ロッパ起源説もあるが、現在ではアメリカ起源説が有力で  
ある。コロンブスが第 1 回の航海から帰国した 1493 年に  
は、早くもバルセロナで梅毒が流行し、数年のうちにはヨー  
ロッパ全土に拡大した。時は、大航海時代であり、梅毒は  
瞬く間にインド、中国を経て、16 世紀前半には日本にも  
到来している。鉄砲の伝来よりも早い時期である。梅毒は、  
国を越え、時代を越えて、世界中の人々を悩ませてきた。  
これこそ、ヨーロッパ人の持ち込んだ、様々な病に痛めつ  
けられてきた新大陸の人びとの復讐的なかもしれない。

### 「ゴーン欲」資本主義

小田急電鉄株式会社 特別社友 利夫 國夫

カルロス・ゴーン元日産自動車  
会長の特別責任容疑に関する  
裁判が新年早々に開廷された。  
なによりカルロス経営者とし  
てではやされた人物が容疑者  
者だから、世間一般の関心は極  
めて高いようだ。容疑者と検察  
の主張が真っ向から対立して  
おり、私も裁判の行方がどうなる  
のかまったく予想できない。  
それはさておきこの事件で驚  
いたのはゴーン氏の得ていた



1911年世界産業労働組合ボスター「資本主義のピラミッド」  
写真: wikipedia

役員報酬の巨額さである。私の勤務していたのは鉄道とい  
う公共交通機関の会社であり、一般的な上場企業のみならず  
役員報酬は比較的に低額であり、社長会長といふまでも開示  
義務のある一億円などには到底届かない。国際的に活動し  
ている企業のトップだからローカル企業である鉄道会社の  
それより高額であるのは当然で、そのこと自体は驚かない  
がゴーン氏が経営者として潰れかかった会社を立て直した  
手法の中心は、多くの従業員や下請け業者を対象とした  
極端なコスト削減であり、それによって涙を流した人は数  
知れなからう。その一方で同業他社のそれと比べても高  
額な報酬を事実上お手渡りに懐に入れる神経というのは、  
私ははまったく理解出来ない。

よく「日本は最も成功した社会主義国である」というジョ  
クが言われるが、先進社会主義国の中では所得格差が極め  
て低いのは事実だろう。資本主義、自由主義経済といふも  
のは欲望の追及によって成り立つものだが、これを無制限  
に放置しておくと極端な社会的格差を生み出して体制その  
ものを破壊しようとする思想に繋がるとこれは歴史の示すこ  
とろである。昭和初期に財閥打倒を叫んだテロリストによ  
る血盟団事件、五・一五事件  
などによって多くの国民が共感し  
同情したのにはそれだけの理由  
があった。大戦後の日本で財  
閥が出現せず、比較的平等経  
済体制が維持されてきたのも、  
GHQの政策によるだけではな  
く日本人が歴史の教訓に学ん  
だことが大きな要因であろう。  
グローバルスタンダードなる  
ものを無批判に受け入れると、  
強欲資本主義に繋がりがかね  
ないというのが今回ゴーン事  
件の何よりの教訓ではなから  
うか。



財閥家族の資産を押し下げる  
写真: wikipedia



昭和 7 年東京新聞朝日新聞紙面

### 隠れた「光」を求めて② 新しい観光資源

### “何も無い・観光”

JR 東海相談役 須田 寛

ヒット歌謡曲「エリモの春」にこういふ一節がある。「エリモ  
の春は何もない春です…、もつともこの歌詞の前後には、エリ  
モの家々では「赤々と暖炉が燃えており人々の輪がそのまわり  
にできている、旅人も一緒に暖まらずゆきまよ」と歌っては  
いるが随分ひどいことを言うものだと思っていた。しかしエリ  
モ峠一帯の観光客がこの歌が流行ってかえって増えたそうだ。  
ある週刊紙が静岡県内の「某私鉄に一日の乗客ほとんど  
0 の駅がある。駅のまわりには家も店も車の通れる道もない、  
あるのは自然だけだ」と紹介した。その結果週末には数百人  
の人々がその駅に降り立つようになるといふ。またこれをも  
機会に秘境駅ランキングを発表する人も出る等ちよつとした  
秘境駅ブームが起こつた。別の鉄道会社にも着目して週末  
にも自社内の「秘境めぐり」と題する臨時急行列車を運転  
したところ毎週満員の盛況をおさめた。これは長野県、静岡  
県境近くの山間小駅(1 日 1 回の乗客数、数人以下という閑散  
駅)の例である。

このように「何も無い」ところに何故多くの観光客が訪れる  
のであろうか。聞いてみると今どき都会の人々の住む周辺では  
わりに「いろいろなおもろ、コトがあり過ぎる、むしろ何もな  
い所の方がかえって新鮮だ、そこに唯一ある自然がかえって  
光ってみえるからその鮮度」といふ。確かに観光というは地  
域の「光」(美しいもの秀れたもの)を心をこめてみるという  
非日常的体験をすることその意味、役割があまり周囲にな  
もない(なくなつた)所などは自然の美しさを際立たせる効果  
とともに特別な非日常的体験をするという観光行動にふさ



飯田線を走る急行「秘境駅 7 号」

わしい場所である  
と思う。ほとんど  
人の訪れない山  
間のお静な、自然  
にかえつたよう  
な廃村(跡)など  
を訪ねる人が多  
く、なかにはそれ  
らの人々のための  
ツアー(秘境めぐり  
も用意されるなど)  
「何も無い」を  
訪ねる観光客は  
ひとつのブームさ  
え巻き起こり、  
観光資源として  
各地の何も無い  
秘境がリストア  
ップされるよ  
うになってきた  
。都市に集中せず  
万遍なく地方に  
も観光客を誘致  
することが都心  
ももたっている  
現在ならばこの  
モデルともい  
うべき新しい  
観光資源の発  
掘といえよう。

しかし、留意すべきは「何も無い(秘境)」を売りにした  
この新しい観光資源はそこに大勢の人が訪れるようになった  
その瞬間から「秘境」ではなくもたつてくるのである。従つて「秘境」  
に残された様々ものもその価値をあらためて再発見して  
もらえるように受入体制(周辺を含むエリアコースの整備)  
を多くの共に真の「秘境の情報発信」が重要である。「秘境」  
に多くの観光客が訪れたその時からそれは「秘境」から脱  
皮し新しい魅力がそこに生まれた元秘境(観光地)にしな  
ければならぬことを忘れてはならないと思う。その地が何故  
「秘境」だったのか、そして秘境時代以降何故年若い自然が  
自然が保たれたのかをみつめ直し、残された自然に新しい  
観光客が訪れるような情報を発信しあらためて自然を見つ  
直す新観光地として発展させるという思いや手づくりの観  
光地を作る努力がそこに期待される。

### COLUMN 天国と地獄、「にっぽん丸」

新年を祝つてグアムとサイパンを航海中の豪華客船「に  
っぽん丸」(22,000ト)が、昨年 12 月 30 日グアムで米海軍基  
地横断に接触して航海不能となつてしまつた。  
その 4 日前の 26 日夜横浜港を出港した「にっぽん丸」は、  
その日の朝神戸港から横濱港へ控岸したばかりだった。  
旧暦クリスマスに「にっぽん丸」クルージングを満喫し、今  
年新婚式を迎える私たち夫婦は、船長から祝福されて少々  
舞い上がっていた。実は、このクルーズ乗船は、ある作家協  
会の忘年会引当で当った特賞品品だった。エーゲ海クル  
ーズ以来久しぶりでエンジョイした豪華な船旅は、偶々手に  
した幸運によるものだったのである。クリスマス・オブを神  
戸で過ごし、25 日昼前に神戸港を離れて紀伊水道から瀬  
戸沖を過ぎて東海沖合を東方へ向かつた。晴天下に波もなく  
快適なクルージングである。外国人スタッフも多く異  
国情緒たっぷりであり、船内では魅惑的な催しが多彩に演  
じられ、終始船客を飽きさせることはなかつた。  
夕闇迫るころになって船内放送が流れしてきた。右舷後  
方遙か水平線上に太陽が沈む瞬間を眺められるという、雲一

点な夕情のおかげで普段見られない見事な日没シーン  
は、今まで見たサンセットの中でも、生涯忘れられないほど  
心に沁みこめ魅惑的な一瞬だった。  
明けて 26 日東京湾に入るとそれまで見られなかつた大  
型船舶や、タンカーが頻りに往來する光景が眼界に入ってきた。  
これよりよく衝突しないものである。右舷に房州橋山、  
左舷に観音崎が見えてきた。まもなくして横濱港埠頭に接  
岸し、クルーに笑顔で見送られ幸福絶頂だった 22 時間  
の夢のようなクルージングは幕を下ろした。  
そして、新年のおとそ気分を抜けぬ間に突然ショッ  
キングニュースを知った。船旅を楽しませてもらつた「にっぽん  
丸」が、横浜港を出港してしまふがグアムで不運な接触事故を  
起こしてしまつたのである。タッチの差で災難から逃れた  
ことにホストするが同時に、「にっぽん丸」が哀れに思  
えて、悲しくもあつた。まさに天国と地獄は紙一重である。  
授かつた幸運なツキを捉えたままだま船したために、船  
内は霊感が漂つてしまったのだらうか。ならば、この  
次はツキを無視して、大救がほしい冷静に乗り込ませ  
ば・・・  
エッセイスト 近藤 節夫

ストーブ列車

津軽鉄道は昭和5年開業。日本最北端の私鉄で津軽半島の奥津軽を走る全長約20.7キロのローカル鉄道です。津軽五所川原を起点に津軽中里まで12駅。有人駅は3駅、他の9駅は無人員駅です。厳冬の津軽半島は一銀面世界。地吹雪の中を列車は走ります。開業当初から津軽鉄道の冬の風物詩となっているのが「ストーブ列車」。昭和19年～21年は戦時中物資欠乏のため休止しましたが22年からは毎冬休むことなく運転。現在のストーブ列車の客車は4代目となりました。旧型客車1両に2基の石炭ダルマストーブを設置、自由席なので混みあつた時は、譲り合ってお楽しみ下さい。

ストーブの上ではスルメを炙り、日本酒で一杯。車窓の雪を見ながらストーブの暖かさで車内はヌクヌクと憩いの場になるスルメ(500円)と日本酒ストーブ酒(350円)は車内販売でも購入できます。

津軽半島の観光振興に携わっているNPO法人津軽半島観光ア

テンドラント推進協議会所属のアンテナショップがスルメを炙るお手伝いをしながら、沿線の見所を津



スルメとストーブ列車



だるまストーブに薪をくべる車掌 ストーブ列車車内販売

ストーブ列車運賃▶ 通常運賃のほか1枚400円の(大人子供必要)ストーブ列車券が必要

運行期間▶ 毎年12月1日～翌年3月31日

12月中の平日は1日2往復、土日祝は3往復

1月～3月は毎日中3往復運行

津軽鉄道▶ 津軽鉄道株式会社本社

お問合せ TEL 0173-34-2148(代表)

津軽鉄道HP▶ <http://tsutetsu.com/>

写真提供:津軽鉄道 JN 協会 てるり

「ふくい南青山291」～福井県アンテナショップ



南青山5丁目「ふくい南青山291」 銀座1丁目「食の国 福井館」

福井県のアンテナショップ「ふくい南青山291」は地下鉄表参道駅から徒歩5分の裏通りであり、お洒落な建物1階と2階を占めている。1階には福井県民の為に東京宿泊施設があった場所に、17年前、2002年に西川一誠知事の発案で福井県の特産品、名産品のアンテナショップとしてスタートした。2013年には銀座に新たに、美味しい福井県の食の専門のアンテナショップ「食の国 福井館」を開業し、南青山店と共同キャンペーンなども実施している。

「ふくい南青山291」は1階が食品や地酒、特産品などの展示、販売コーナーで、2階には福井県の観光名所のシムレットなどを揃えた観光案内コーナーや福井県関係の本が並べられている図書コーナー、特産品の織物、羽二重などが展示されている企画展示コーナーの他、様々な催し物が行われるイベントスペースがある。

店長の古市宏樹さんによると、物品販売の1番人気は谷口屋の「おあげ」だそうで、大きな肉厚の揚げで、遠くからも買いに来られる常連もいるとのことだ。又、冬場の人気は水ようかんで、「冬水ようかん」は街の風物詩のひとつで、各地域で味が違い、競い合っているそう。水にまぎれている福井は、日本酒の製造も盛んで、黒熊造りの「黒熊」、一本義久保本店の「伝心」や「一本義」、加藤吉平商店の「梵」などが人気で中には人手困難な高級品もあるそう。

福井県は都道府県別幸福度ランキングで全国一位であり、店内には食品、地酒の他にも、若狭塗りの箸を初め越前漆器、越前焼、越前打物、越前和紙、メガネ関連商品なども展示され、販売されている。店内にはイートインコーナーもあり、購入した名物「羽二重餅」や「あんぱ餅」などを食べすることもできる。

イベント会場では、季節によって、餅つきやそば打ちなどの行事が行われる他、各自治体の特産物を展示販売するフェア、手作り職人ワークショップ、鍋フェア、おあ



漆器



2階観光コーナー

げの試食や地酒の試飲販売会など、様々な催し物が開催されている。1階には福井県の老舗旅館が運営するレストラン「ふくい望洋楼」が併設されている。

古民家で使用されていた柱や梁を利用した和の雰囲気での器、越前かたに季節の新鮮な食材を使用した贅沢な「和」の雰囲気でも利用されており、ディナータイムの予約は込み合っているそう。

最近のインバウンドブームのおかげか、南青山の裏通りという解り難いロケーションにも関わらず外国人観光客の来店も増えており、和紙、若狭塗りの箸、漆器、越前焼や越前竹人形なども購入されている。

今後も、銀座店と共同でイベントを開催して、情報発信力を高めていきたいと考えている。尚、余談ながら店名の最後の291という数字はふくいといと読むそう。



地図:マピオン

最近のインバウンドブームのおかげか、南青山の裏通りという解り難いロケーションにも関わらず外国人観光客の来店も増えており、和紙、若狭塗りの箸、漆器、越前焼や越前竹人形なども購入されている。

今後も、銀座店と共同でイベントを開催して、情報発信力を高めていきたいと考えている。尚、余談ながら店名の最後の291という数字はふくいといと読むそう。



ふくい望洋楼



若狭塗箸



越前漆器

谷口屋 おあげ

第150回観光立国セミナー開催のお知らせ

第150回 観光立国セミナーを2月8日(金)12:00より海事センタービル2階会議室にて開催。要事前予約

講師: 轟木 一博氏

演題: 「LCC航空会社とピーチ航空の将来」

参加費: 会員 / 1,000円 一般 / 2,000円 ※昼食(弁当)付き

轟木 一博氏プロフィール  
1975年生まれ。98年東京大学法学部卒、同年運輸省(現国土交通省)入省。2004年米カンザス大学国際経営学修士(MBA)、Peach Aviation 株式会社執行役員事業戦略室長 / 著書:「空港は誰が動かしているのか」他

NEWCLASSICS.

東京會館が2019年1月8日、皇居二重橋を望む新築丸の内二重橋ビルにGrandオープンした。この地で1922(大正11)年に開業し1世紀近く経て3代目になる新ビルだ。レストラン8店、パケット13室、チャペル、神楽を含む複合施設として低層階の地下1階地上1～4階と7階を占める。ホテルでなく大規模宴会会場を多数持つ独自路線で人気を保つ。新ビルは會館と三菱地所所有の富士ビル、東京商工会議所(東商)の3棟を一体に建て替えた地下4階地上30階、高さ約150mで昨年10月竣工。都内の商業業者ら会員約8万が交流する東商は5、6階と展示スペースの1階に、日本外国特派員協会(プレスクラブ)も有楽町から移り、高層オフィス階は三菱重工業などが入った。

新生東京會館は「NEWCLASSICS.」(新しく伝統的)をうたい、「時を超えて愛される、人生の特別な場所でありつづけるために」との願いを込める。3階の螺旋階段の上に吊るしたシアタージュアは開業時のパケットホール天井にあった伝統を語る3台の1つ。震災・戦火による古く抜け1台は愛知・明治村に、現01台は解体し部品ごと保存する。1階ロビーを飾る猪熊英一郎の巨大な壁画は71年作のモザイクで日本館壁面の再現だ。自慢のフランス料理はこのた



猪熊英一郎1971年制作の壁画「都市・窓」が目を引くロビー

初めて外部からメインシェフを招き「伝統を継承しながら、軽やかな感性を加えます」と新旧ミックスの味を込める。開業1年後に関東大震災に見舞われ4年後に営業再開する苦難の道を歩み、大政翼賛会に「大東亜會館」と改称して組み込まれ、戦後GHQの接収中も受託営業した。ホテル事業はパレスホテルの前身、国営「ホテルデート」を運営したこともある。草創期から2代目本館時代まで直木實作家の辻村深月がエピソード欄に纏った「東京會館とわたし」(毎日新聞出版2016年刊、上巻各1,500円+税)は史実に基づく記述あふれて興味深い。

文・写真 林 莊祐